



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 三井金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5706 URL <https://www.mitsui-kinzoku.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池信 省爾
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート コミュニケーション部長 (氏名) 白石 克巳 (TEL) 03-5437-8028
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	201,597	19.3	21,027	84.1	23,474	134.3	16,824	—
2026年3月期第1四半期	169,040	△0.5	11,424	△51.3	10,019	△61.7	△5,970	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 18,040百万円(—%) 2026年3月期第1四半期 △7,282百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	294.08	—
2026年3月期第1四半期	△104.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	719,268	430,465	58.7
2026年3月期	697,481	420,910	59.1

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 422,072百万円 2026年3月期 412,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	100.00	—	145.00	245.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	140.00	—	14.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※当社は、本日開催の取締役会において、2026年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき10株の割合で株式分割を実施することを決議しました。そのため2027年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は当該株式分割の影響を反映した金額を記載しています。株式分割を反映しない場合の2027年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は140円、通期配当金は280円です。詳細は本日公表の「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	420,000	15.3	45,000	13.2	48,500	23.9	35,000	83.7	611.77
通期	850,000	12.1	94,000	△28.2	100,000	△26.9	80,000	△12.3	139.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※2027年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響(1株につき10株の割合)を反映しています。株式分割の影響を反映しない場合の2027年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は1,398円33銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年3月期1Q	57,415,430株	2026年3月期	57,415,430株
2027年3月期1Q	206,453株	2026年3月期	203,126株
2027年3月期1Q	57,211,140株	2026年3月期1Q	57,181,318株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費や設備投資が底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調を維持しました。世界経済においても、米国を中心とした底堅い需要に支えられ、全体として緩やかな成長が続きました。一方、資源・エネルギー価格の変動や地政学的リスクの顕在化などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く環境としては、亜鉛、銅及びインジウムの平均価格は前年同期に比べ上昇しました。パラジウム及びロジウムの平均価格も上昇したものの、当期に入り下落基調で推移しました。為替相場は円安基調で推移し平均レートは前年同期に比べ円安となりました。

また、半導体市場が堅調であったことから、銅箔の販売量は増加しました。二輪向け排ガス浄化触媒はインド向け需要が堅調であったことから販売量は増加しました。

当社グループは、パーパス及び全社ビジョン（2030年のありたい姿）である「マテリアルの知恵で“未来”に貢献する、事業創発カンパニー。」を確実なものとするため、2025年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「25中計」を策定し、昨年4月よりスタートしました。

「22中計」における現行施策のブラッシュアップ及び追加施策を実行するとともに、企業価値の向上を加速させるため、「経済的価値の向上」と「社会的価値の向上」を両立する統合思考経営を実践し、成長し続けるための重点施策に取り組んでいます。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比べ、325億円(19.3%)増加の2,015億円となりました。

営業利益は前年同期に比べ、銅箔の販売量が増加したことに加え、円安の進行や非鉄金属相場の変動に伴う在庫要因が好転したこと等から、96億円(84.1%)増加の210億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、営業利益が96億円増加したことに加え、持分法による投資利益が20億円、為替差損益が18億円増加したこと等により、134億円(134.3%)増加の234億円となりました。

特別損益においては、投資有価証券売却益10億円等を計上しました。加えて、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純損失を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期に比べ、227億円増加の168億円の利益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間より、自動車セグメントの子会社の株式を前連結会計年度の期中に第三者へ譲渡したことに伴い、報告セグメントの区分を変更しております。その内容につきましては、「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」のセグメント情報等に記載のとおりであります。

① 機能材料セグメント

(金額：億円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	712	1,005	292	41.1
経常利益(セグメント利益)	104	182	77	73.8

当部門の売上高は前年同期に比べ、銅箔の販売量が増加したこと等により、292億円(41.1%)増加の1,005億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、銅箔の販売量が増加したことに加え、販売価格の改定によるマージンの改善等により、77億円(73.8%)増加の182億円となりました。

② 金属セグメント

(金額：億円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	740	982	242	32.7
経常利益(セグメント利益)	33	68	34	105.0

当部門の売上高は前年同期に比べ、亜鉛等の非鉄金属相場の平均価格が上昇したこと等により、242億円(32.7%)増加の982億円となりました。

経常利益は前年同期に比べ、亜鉛製錬の大規模定期修繕工事があったものの、相場の変動に伴う在庫要因が好転したこと等により、34億円(105.0%)増加の68億円となりました。

③ その他の事業セグメント

(金額：億円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上高	537	381	△155	△28.9
経常利益(セグメント利益)	△5	5	11	—

当部門の売上高は前年同期に比べ、自動車セグメントの子会社の株式を前連結会計年度の期中に第三者へ譲渡したこと等から、155億円(28.9%)減少の381億円となりました。

経常損益は前年同期に比べ、売上高と同様の要因に加え、持分法による投資利益が増加したこと等により、11億円増加の5億円の利益となりました。

なお、前第1四半期連結累計期間の数値には、自動車部品セグメントの売上高245億円、経常損失4億円を含めて表示しています。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産、負債及び純資産の状況〕

資産合計は、現金及び預金46億円等の減少があったものの、棚卸資産263億円等の増加により、前連結会計年度末に比べ217億円増加の7,192億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金71億円、長・短借入金及びコマーシャル・ペーパー残高54億円等の増加により、前連結会計年度末に比べ122億円増加の2,888億円となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益168億円、剰余金の配当82億円等の減少により、前連結会計年度末に比べ95億円増加の4,304億円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.4ポイント低下の58.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期第2四半期連結累計期間(2026年4月1日～2026年9月30日)及び通期(2026年4月1日～2027年3月31日)の業績予想につきましては、当第1四半期実績と第2四半期以降の事業環境等の変動要因を勘案の上、見直しております。

(金額：億円)

		2026年9月 第2四半期 累計期間 (今回予想)	2026年9月 第2四半期 累計期間 (前回予想)	増減	増減率 (%)
売上高	機能材料	2,080	1,900	180	9.5
	金属	2,100	2,130	△30	△1.4
	その他の事業	720	660	60	9.1
	消去又は全社	△700	△590	△110	-
	合 計	4,200	4,100	100	2.4
営業利益		450	490	△40	△8.2
経常利益	機能材料	390	345	45	13.0
	金属	130	225	△95	△42.2
	その他の事業	10	△2	12	-
	消去又は全社	△45	△68	23	-
	合 計	485	500	△15	△3.0
親会社株主に帰属する当期純利益		350	370	△20	△5.4

	4～6月 実績	7～9月 見込	上期見込 (今回予想) A	上期見込 (前回予想) B	増減 A－B
為替(円/US\$)	159	160	160	155	5
亜鉛LME(\$/t)	3,463	3,400	3,432	3,200	232
鉛LME(\$/t)	1,955	1,900	1,927	1,900	27
銅LME(¢/lb)	604	612	608	590	18
銅LME(\$/t)	13,324	13,500	13,412	13,000	412
インジウム(\$/kg)	698	800	749	700	49
パラジウム(\$/oz)	1,413	1,300	1,356	1,600	△244
ロジウム(\$/oz)	9,282	8,000	8,641	10,000	△1,359

(金額：億円)

		2027年3月 通期 (今回予想)	2027年3月 通期 (前回予想)	増減	増減率 (%)
売上高	機能材料	4,110	3,790	320	8.4
	金属	4,300	4,340	△40	△0.9
	その他の事業	1,380	1,320	60	4.5
	消去又は全社	△1,290	△1,150	△140	-
	合 計	8,500	8,300	200	2.4
営業利益		940	910	30	3.3
経常利益	機能材料	780	670	110	16.4
	金属	265	375	△110	△29.3
	その他の事業	23	8	15	187.5
	消去又は全社	△68	△123	55	-
	合 計	1,000	930	70	7.5
親会社株主に帰属する当期純利益		800	750	50	6.7

	上期見込	下期見込	年間見込 (今回予想) A	年間見込 (前回予想) B	増減 A - B
為替 (円/US \$)	160	160	160	155	5
亜鉛LME (\$/t)	3,432	3,400	3,416	3,200	216
鉛LME (\$/t)	1,927	1,900	1,914	1,900	14
銅LME (¢/lb)	608	612	610	590	20
銅LME (\$/t)	13,412	13,500	13,456	13,000	456
インジウム (\$/kg)	749	800	774	700	74
パラジウム (\$/oz)	1,356	1,300	1,328	1,600	△272
ロジウム (\$/oz)	8,641	8,000	8,321	10,000	△1,679

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,271	53,605
受取手形、売掛金及び契約資産	127,810	124,987
商品及び製品	67,729	71,508
仕掛品	64,286	66,783
原材料及び貯蔵品	80,869	100,964
その他	25,888	30,590
貸倒引当金	△1,388	△1,443
流動資産合計	423,466	446,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	199,421	202,929
減価償却累計額	△138,381	△139,986
建物及び構築物（純額）	61,039	62,943
機械装置及び運搬具	507,470	514,144
減価償却累計額	△443,068	△448,331
機械装置及び運搬具（純額）	64,402	65,813
鉱業用地	388	391
減価償却累計額	△317	△319
鉱業用地（純額）	71	72
土地	28,550	28,639
建設仮勘定	18,156	15,672
その他	34,027	34,572
減価償却累計額	△28,271	△28,774
その他（純額）	5,755	5,798
有形固定資産合計	177,975	178,939
無形固定資産	6,870	6,368
投資その他の資産		
投資有価証券	66,125	63,704
長期貸付金	390	392
退職給付に係る資産	16,073	16,384
繰延税金資産	4,505	4,407
その他	2,337	2,332
貸倒引当金	△262	△259
投資その他の資産合計	89,169	86,964
固定資産合計	274,014	272,271
資産合計	697,481	719,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,294	68,492
短期借入金	36,164	30,774
コマーシャル・ペーパー	-	11,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	13,806	8,916
引当金	9,738	6,038
その他	41,268	49,225
流動負債合計	172,273	184,448
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	37,976	37,852
繰延税金負債	8,441	7,973
引当金	1,901	1,840
退職給付に係る負債	19,450	19,540
資産除去債務	4,397	4,502
その他	2,129	2,645
固定負債合計	104,298	104,354
負債合計	276,571	288,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,377	42,377
資本剰余金	17,609	17,609
利益剰余金	332,999	341,528
自己株式	△653	△662
株主資本合計	392,333	400,852
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,242	563
繰延ヘッジ損益	△3,343	△3,203
為替換算調整勘定	20,650	22,769
退職給付に係る調整累計額	1,166	1,090
その他の包括利益累計額合計	19,715	21,219
非支配株主持分	8,861	8,393
純資産合計	420,910	430,465
負債純資産合計	697,481	719,268

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	169,040	201,597
売上原価	138,634	159,505
売上総利益	30,405	42,091
販売費及び一般管理費	18,981	21,064
営業利益	11,424	21,027
営業外収益		
受取利息	142	190
受取配当金	485	307
不動産賃貸料	111	209
持分法による投資利益	778	2,834
その他	126	137
営業外収益合計	1,644	3,679
営業外費用		
支払利息	597	507
為替差損	2,261	379
その他	191	344
営業外費用合計	3,050	1,231
経常利益	10,019	23,474
特別利益		
固定資産売却益	15	11
投資有価証券売却益	-	1,037
関係会社株式売却益	2,210	-
その他	175	29
特別利益合計	2,402	1,077
特別損失		
固定資産売却損	10	0
固定資産除却損	271	264
関係会社株式売却損失引当金繰入額	19,700	-
災害による損失	111	197
その他	220	136
特別損失合計	20,313	598
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△7,892	23,953
法人税、住民税及び事業税	3,555	7,560
法人税等調整額	△6,034	△2
法人税等合計	△2,479	7,557
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,412	16,395
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	557	△428
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,970	16,824

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,412	16,395
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204	△653
繰延ヘッジ損益	361	△2,094
為替換算調整勘定	△1,949	2,259
退職給付に係る調整額	△0	△74
持分法適用会社に対する持分相当額	△486	2,207
その他の包括利益合計	△1,870	1,644
四半期包括利益	△7,282	18,040
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,885	18,328
非支配株主に係る四半期包括利益	602	△288

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能材料	金属	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	69,485	55,582	46,976	172,043	△3,003	169,040
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,784	18,450	6,770	27,005	△27,005	—
計	71,269	74,033	53,746	199,049	△30,009	169,040
セグメント利益	10,491	3,329	△536	13,285	△3,266	10,019

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額(予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差)であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,483百万円、棚卸資産の調整額△720百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注2)
	機能材料	金属	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	98,025	74,778	25,290	198,095	3,502	201,597
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,532	23,498	12,908	38,938	△38,938	—
計	100,557	98,277	38,199	237,034	△35,436	201,597
セグメント利益	18,238	6,827	576	25,642	△2,167	23,474

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額は、主に在外子会社の売上高の本邦通貨への換算処理における差額（予算作成時において想定した為替相場と期中平均為替相場との差）であります。セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,450百万円、棚卸資産の調整額504百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び試験研究費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、自動車セグメントの子会社の株式を前連結会計年度の期中に第三者へ譲渡したことに伴い、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「機能材料」「金属」「自動車部品」「その他の事業」から、「機能材料」「金属」「その他の事業」に変更しております。

変更後の各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品等
機能材料	銅箔（キャリア付極薄銅箔、プリント配線板用電解銅箔等） 排ガス浄化触媒 機能粉（電子材料用金属粉等） 電池材料（水素吸蔵合金等） レアマテリアル（高純度酸化タンタル、半導体装置保護膜材料等） セラミックス製品 スパッタリングターゲット（ITO等）
金属	亜鉛、鉛、銅、金、銀、資源リサイクル
その他の事業	各種産業プラントエンジニアリング、伸銅品、パーライト製品、ダイカスト製品、粉末冶金製品

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	7,523百万円	6,887百万円

(重要な後発事象)

(株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2026年8月7日開催の取締役会において、2026年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき10株の割合で株式分割をすること、および株式分割に伴う定款の一部変更について決議いたしました。

詳細については、本日公表の「株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。